



発行所 新開部 印刷所 新開部

LATINIC Type setting & Printing

本校生徒の自主性は如何

自主性に富む文化系統 瞬間を退く運動系統

去る五月十七日新着とがらうだ先生も生いたが、大体の生徒は準備開部はクラブ活動も限られた一週一時間の不完全の爲、各自獨當に研

英語クラブ

一年部二十数名のクラブ員は五人づつグループに分れて、共通問題を研究し

演劇クラブ

先年佐藤さんを講師に迎えて、二、三年生十餘名の集り

卓球クラブ

マーットの敷に比べ、プレーヤーの数は倍増している

蹴球クラブ

擔當は大山先生、クラブ員は二四名だが大部分は蹴技

排球クラブ

擔當は吉田先生、クラブ員は大家族でバレー部員の顔

籠球クラブ

記者が訪れた時間だけ知れないが、このクラブは廣

文藝クラブ

部員多数の爲、詩、和歌、俳句、散文の三クラブに分

寫眞クラブ

當初は寫眞機の説明をなし、今は關根君がフィルムにつ

科學クラブ

生理學の三班に分れ、各々の班長を中心として自主的に活

音樂クラブ

この日はレコード・コンサートをやつて、皆熱心に聴き

美術クラブ

美術クラブを訪ねて特に感動した事は皆一心不乱に筆を

辯論クラブ

中央に位置を占めた野中君が時間を守り、論議を

商業クラブ

生が経済的話をして、クラブ員全員がソロバンの練習を

來れ

水泳日本を築きあげる諸君よ

會

六番ホーム 浦田 二番ホーム 甲斐 (顧問 川村先生)

クラブ活動の現況をさぐる

一年生が過半数を占め、一般社会歴史を授業の延長にしたいくない

論議の凝結状態に着目した社爲に自由なる多読者の意志

論議の凝結状態に着目した社爲に自由なる多読者の意志

論議の凝結状態に着目した社爲に自由なる多読者の意志

論議の凝結状態に着目した社爲に自由なる多読者の意志

論議の凝結状態に着目した社爲に自由なる多読者の意志

論議の凝結状態に着目した社爲に自由なる多読者の意志

論議の凝結状態に着目した社爲に自由なる多読者の意志

論議の凝結状態に着目した社爲に自由なる多読者の意志

論議の凝結状態に着目した社爲に自由なる多読者の意志

論議の凝結状態に着目した社爲に自由なる多読者の意志

論議の凝結状態に着目した社爲に自由なる多読者の意志

論議の凝結状態に着目した社爲に自由なる多読者の意志

論議の凝結状態に着目した社爲に自由なる多読者の意志

論議の凝結状態に着目した社爲に自由なる多読者の意志

論議の凝結状態に着目した社爲に自由なる多読者の意志

論議の凝結状態に着目した社爲に自由なる多読者の意志

論議の凝結状態に着目した社爲に自由なる多読者の意志

論議の凝結状態に着目した社爲に自由なる多読者の意志

論議の凝結状態に着目した社爲に自由なる多読者の意志

論議の凝結状態に着目した社爲に自由なる多読者の意志

論議の凝結状態に着目した社爲に自由なる多読者の意志

論議の凝結状態に着目した社爲に自由なる多読者の意志

論議の凝結状態に着目した社爲に自由なる多読者の意志



# 運動會中止の批判

## 反対意見は根據なし

春期運動會は去る二十七日又は黒 黒を指せば白といふ開催の豫定のころ 生徒つた群衆心理にかこつけた間から反対の聲が起り、過よくない傾向が強いのでは半數の反対の結果、遂に廢止に及んだ。新聞部ではこの運動會中止に關する意見をもつと眞剣な氣持で問題を各層に依拠したところ、どんなに伸ばしていいと云集つたのは賛成意見だけ(つた眞實な態度が欲しいと思ふ)。

その理由はさして書く程の反對もなく漠然と反對の由賛成意見全部を掲載するのには警害があるのでその中一は通選んで、掲載し本校生徒の反省を促す。

### 風紀部より

灼けつくような夏も近づいて来たその問題になるのはもう話標服では堪らん脱衣登校を許せよなど風紀部へ文句が来ることだ、談判されぬ前にこちらから先手を打とう今年に風紀部としては旧來の枠に固執せず漸新的なものを試みるから予矛盾を感じ、嘆かな

一過半數の諸君が反對の爲樂しかるべき運動會は遂に取り止めとなつた跡であるが、日頃スポーツ熱の盛んな本校で、と思つて少なからず矛盾を感じ、嘆かな

## 我が幼なかりし頃

第五番 走者

稲垣 達夫

小學校の一年の頃、台湾のさんとは聞き返しますと俺台南市に住んでいた、或るかい俺は土曜日の晩暮る時見貴が僕に向つて何が一つ休みの始まる前日の晩さ

次は正月に台北市に住んで、と思つて感心しました。この

北北行きたと答えますと兄が、何故わすれないで憶い



修學旅行は關西へ

學校側は北海道

第三に長髪が許された結果面にして熱を吸収する事導し度い重要事項は山積し最近無何で登校する者が多は余りにも酔與である 許しては生徒集

ことだが、本校生徒として熱を反りさせ度いものだ

は是非留附登校して戴きた 只最後に注意したい事は輕

第四に太陽の毒々としてふ 快な服装も當然南高生であ

時、あれ北北に行き来時しものは水牛と生體でした。い博覧會を見て、目のさめ幼稚園に行く途中には靴を

り又化物の出る理窟に入牛は赤い物を見るに怒る。それが本當でど

つて行くつたり、又買つても角を振りくく来ます。僕ら

らつた風船が壊れもしないはこわい。その側を通つて

中にバチンと破れてしまつて逃げ出した。生徒はと

たり見たから左隣の顔がと女は細と顔に入票をして木

つては見たかと思ふ。第一その目付きが

つた旅りをしていたのを見てと、つとも正視出來てしま

貴に見付かれて後々まで来ません。けれども生徒は

家中の笑い顔にされたから奥地に引込んでいます。次は佐藤

## 三年生に補習授業

### 六月より開始

- 下管成一 八名
- 行先地 第一志望第二志望
- 北海道 五二 五六
- 松島 五八 九四
- 東京 九四 九七
- 四日市 三三 三三
- 日光 三三 三三
- 以下佐藤、熱海、八幡中、
- 男鹿半島、島海山、登別温
- 泉などで
- 時期は七月下旬...三二
- 九月一旬...二〇 八月上旬
- 二二の船であつて六泊七
- を希望する者は四十五名
- 三泊四日十八名、又十泊
- 十一日を望む者が三名いる

月曜11番教室) 英語(佐々木)

木曜12番教室) 數學(塚本)

金曜12番教室) 國語(塚本)

○補習授業は正課の授業の補助である。従つて止課の授業は怠りて補習授業に出るのには開懐いであると思ふ

○あくまで正課の授業を十分やつた上でその全力を以つて更に勉強すると云ふ立前である

○但しは補習授業が不要だといふ意味ではない。それによる程結構である。そのな

な実情でしつかり勉強して買いたい、勉強するのは先

用して二泊三日より出来ないのである。しかしこれ

は物足りないようであり

そうならば夏休を利用して七月下旬か八月でなければならぬ。しかも夏どと種

西はどうもうまくない。結局は北海道に落ち着く

だらうと思ふ(北海道へ旅行するに五泊六で旅費宿

料で千五百円位だ)と云うので六泊七日の希望のようだ

が普通では土曜、日曜を利用する。佐々木(先生談)

### 能中 第一期の思い出

佐々木 正之

早いものでもう二十五年や学期末考査も豫告なしで昔になつてしまつた。我あつた。だから始輪油断し

★紅顔の美少年達が能中に入學したのは大正十四年四

月まじ校舎がなくて今の、先生に苦痛という訳でもな

業高の校舎を借り、先生に苦痛という訳でもな

もはじめは三、四人しか居つたし、又勉強ばかりして

なかつた。その頃は課外運いのでもない。私の家は

動と言つて、よく全生徒が図書館に近かつたので、殆

記念グラウンドへ行つて色々活動の様なものである。そ

の年の十一月に体操場が出上つて、取敢えずその

來上つて、取敢えずその二教室を作り

隅を仕切つて二教室を作り

そこに移つた。その冬は

の天井板のない假教室で過す時間豊富にあつたが

した。記録を見ると、校舎味である。四年を終つた時

が一通り出来上つたのが翌に、陸十一人、二高(五

十五年八月で、その九月廿一日に落成式を挙行、自

今日を開設記念日と定むが四年からは採用しなかつ

今とある。二年生になつたので全取して、四年から

はじめて正式の校舎を獲つた。これは毎日の勉強を忠實にや

つたお蔭だと思ふ。少くと

一鈴懸という雑誌をば

がた版で作文や歌をのせた。勿論勉強が不要だとい

幼稚なものであつたが、國々の時代から毎日の勉強を規

範の手でやつたもので、文則的にやることによつて本

化運動の第一歩と云へるか當の基礎が出来たのだとい

も知れない。考査はすべて、中間考査

能南時報  
松陵タイムス  
樽山通信  
松陵通信  
能代南新聞  
よねしろ

所謂受驗勉強を早くすれば成功しないのである。運動部はまだ私の在學中は活躍する所までは行かなかつた。それでは四年の時

は柔剣道に野球部がほ

出来かけていたと思ふ。私は野球部に入つて

論硬球である。しかし恐ろ

毎日練習した訳でもなかつたらしい。對外試合も秋

の末に一回やつただけであ

る。確か十一月三日で、ラ

インを引いていたら敵が降

つて来たことを覚えてい

る。相手は多分実業團で、勝

つたか負けたかは忘れてしま

つた。これは野球部の先史

時代である。

我々一期生だつたから終始股上級生であつた。だから上級生の壓迫を受けた

経験はなく、又、変温厚であつたから、下級生をいじめたり氣合をかけたりはなかつた。下級生もおとな

しなかつたのだらう、少くと

私が四年の時まではそれがあつた、之は四期の相沢

先生が證明してくれるのだ

保より五期ごとに分けて先輩よりの寄稿を願ひ、

本校の歴史の一端を作りたいと思ひ企画しました御筆力を願ひます。

あわや!!金星と衝突? 恐ろしき地球の歴史

最近、米國の有名な歴史家、科学者でもあり、マニエル・ヴェリコフスキー氏が「地球の衝突とイ...

「地球はかつて大きな慧星に運行を中止した。この衝突しかけたことがあつて...

【中】この頃、遠く昔、大王子供、老人、みなを驚かして、一天にわにかき曇つた...

【佐藤】この頃、遠く昔、大王子供、老人、みなを驚かして、一天にわにかき曇つた...

【佐藤】この頃、遠く昔、大王子供、老人、みなを驚かして、一天にわにかき曇つた...

そんな事はな 反 対

ガ女史さ、そく反 対... 地球が自轉しているのは、そのエネルギーが...

本報に英字新聞誕生

三年生を中心となつて足尾... 今、新聞部内に英字新聞編集九千四百本年度は優良...

本報競技部第三位

一 三地區對抗北豫選... 全縣三地區對抗北豫選競技部、五月廿八日日本...

部員募集

部員募集... 二年の... 希望者... 募集者... 新部員...

佐藤、大塚組優勝

一 マ杯庭球能代地豫選... 五月廿六日快晴のうちに、本校庭球部、能代地豫選...

水泳同好会結成

水泳同好会結成... 本校二年浦田君を中心に、水泳同好会が結成...